

# 衣食住の工夫が温暖化対策

私は、今二度目の洋服おけいこに集中して  
います。

二十年前にしてリタ頃の物を活用して、新  
しく服を購入するとはあまりありませんで  
した。

習っている時は、実家の母が、五十年前か  
らの布もくれたので、活用しました。

流行もくるくると廻るので、四十年や五十  
年の物でも今も活用します。

食べる物は、処分する厭立がほとんどなく  
消化しています。

住まいを同じにする、二世帯風の台所が、  
別となる形でも、作った料理をふりわけて、

次の日に残るといいうのは、あまりありません。  
料理作りも好きなので、古典的なやり方で

すが、NHKの手まうの料理の本と二十年もく  
りかえして作ってもあきま車はありません。

単純なくりかえしで少しは、料理もできて  
くる様になり、自分ながらには、満足してハ

ます

住まいも四十年位の物になりましたが、貸賃

戸建住宅のような近郊迷惑もあたり前のよ

うな所ですが、いちおう住み慣れたたたみ部

屋は、神経が痛む位、うるさくても、太陽

の動く時間に合わせて、明るくても

自然の明るさのみで、ほとんど、夜暗くな

る時以外は、電機バツリません。

悩む所は、早朝のうるさい時でも、書籍が

くずれ落ちたり、あれ易い雑貨が、下へおち

てしまふ程の隣の盗みとり学習が、横行して

長い時間たつてしまつたと、いう事です。

そのわづらわしささえなければ、園の通り

ほいほいで、障子の窓なので、電機はつけ

ません

なにがな、老後になりますか、ライフスタ

イルが、特にくせがない自然にあごせている

一帯が、温暖化対策の工夫になつて、いふと思ひ

ます

①

馬場

道  
惠

②

60  
才

③

630  
0122

生  
駒  
市  
真  
弓  
四  
丁  
目  
二  
一  
二

④

2368  
471